



小型昇華精製装置

SP-060V

村田研究室

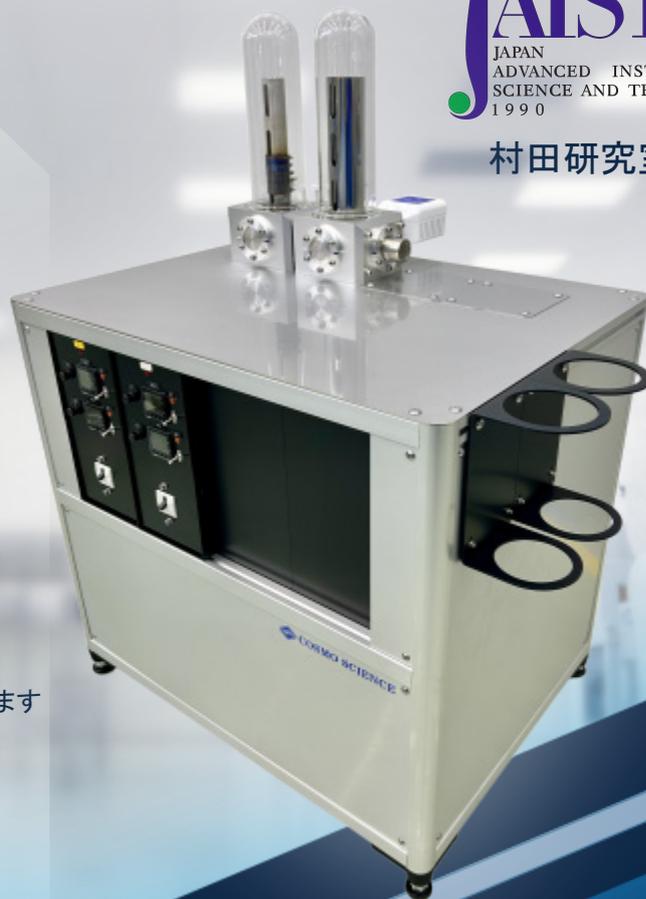
コスモ・サイエンスと北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)の村田英幸研究室は、有機化合物を減圧昇華精製法によって高純度化することが可能な新方式の昇華精製装置を開発しました

精製管を縦型に配置し ユニットの横方向に増設可能な構造とすることで省スペースでの拡張が可能となりました

必要最小限の構成で導入できるため初期コストを大きく削減できます

ユニットの追加やオプション対応により幅広い用途に対応可能です

- ◆操作方法が簡単のため導入後すぐに使用できます
- ◆省スペースのため配置場所を選びません



【高い拡張性】

精製ユニットは最大4台まで増設可能で各ユニットで異なる材料を同時に昇華精製できます

※縦長の観察窓から内部の状態を確認できます

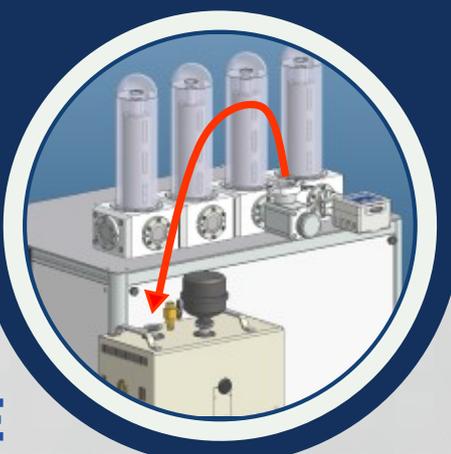


材料の回収やガラス管の交換が簡単に行えます



【コストメリット】 【機能性】

排気ユニットの追加は不要！
 コンタミを抑える構造となっており、最大4ユニットまとめての排気が可能です





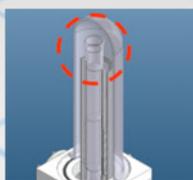
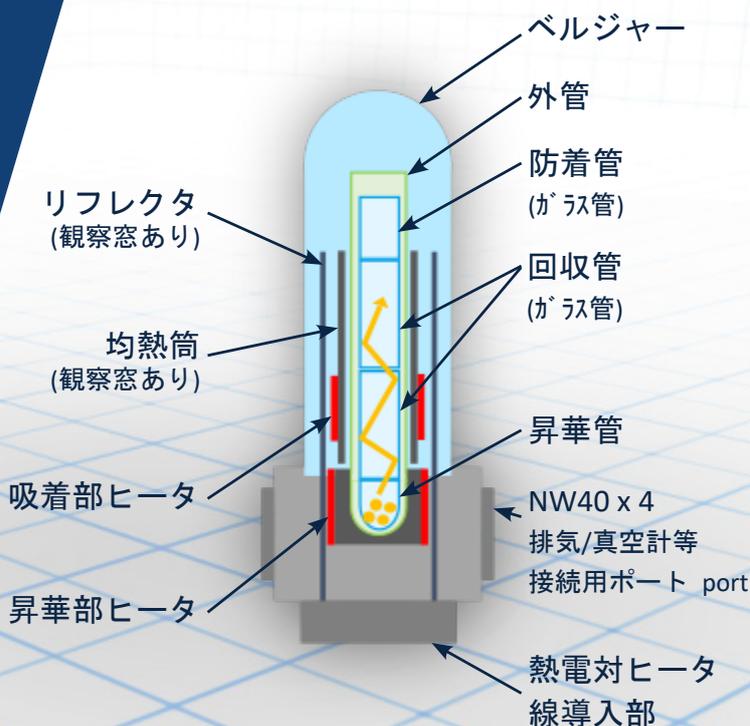
装置全体像



≪標準仕様≫ ※排気装置は別ユニット
フレーム+昇華ユニット(x1)+ガラス器具
セット(x1)+ヒーターコントローラー(x1)
+ベルジャーホルダー(x1)

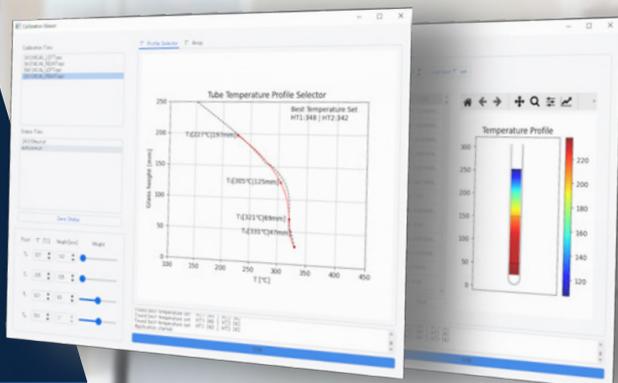
昇華精製ユニット

※13kg/ユニット



回収管の最上部は外気により冷却され未回収成分が付着しやすくなるため防着筒としての機能も兼ね備えています

ソフトウェア



当社独自のソフトウェアを使用しプロセスに最適な温度条件を決定します

より正確な結果を得るため
ご要望に応じて機器の特定の
校正データを作成可能です

	標準仕様	オプション
処理量	Max. 60cc (1ユニット15cc x 4)	
ガラス管類	ホウ珪酸ガラス 回収管：内径φ22 x L100 (2分割)	石英 分割数・形状は 応相談
減圧容器 (ベルジャー)	ホウ珪酸ガラス 内径φ85 x L300	石英、他材質も 応相談
加熱	シースヒータ	
測温	ヒータ部以外の測温箇所は応相談	
温度	Max. 500°C 昇華部 Max. 400°C 吸着部	Max. 500°C吸着部 (オプションヒータ)
制御方式	温調器による 個別PID制御	プログラミング コントロール可
電源	AC100V 6A 3ユニット以上の場合 OAタップ使用不可)	その他仕様 は応相談
本体サイズ	W800 x D600 x H1160	
重量	50kg/1ユニット~90kg/4ユニット	

お問い合わせ:

株式会社 コスモ・サイエンス

0463-51-2031

<https://www.cosmo-science.co.jp/>

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮 7-3-10

